

○ 株式会社河北潟ゆうきの里は、下水汚泥由来のYM菌と牛ふんを混合し、汚泥発酵肥料「かんとりースーパー河北潟」を製造。

■ 肥料の種類・肥料名称

- ・ 汚泥発酵肥料（かんとりースーパー河北潟）

■ 国内資源の種類

- ・ 下水汚泥
- ・ 牛ふん

■ 使用作物

- ・ 家庭菜園用、耕種農家等（野菜、花等）



■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・ 河北潟酪農団地の牛ふん尿処理を行うため設立された。牛ふん尿を基に堆肥を製造、以降有機肥料の生産や下水汚泥の処理を行うこととなったことが始まり。

取組の内容

- ・ 下水汚泥は石川県内13市町※から、4,645t/年を受入れ（R4実績）。（※七尾市、小松市、志賀町等）

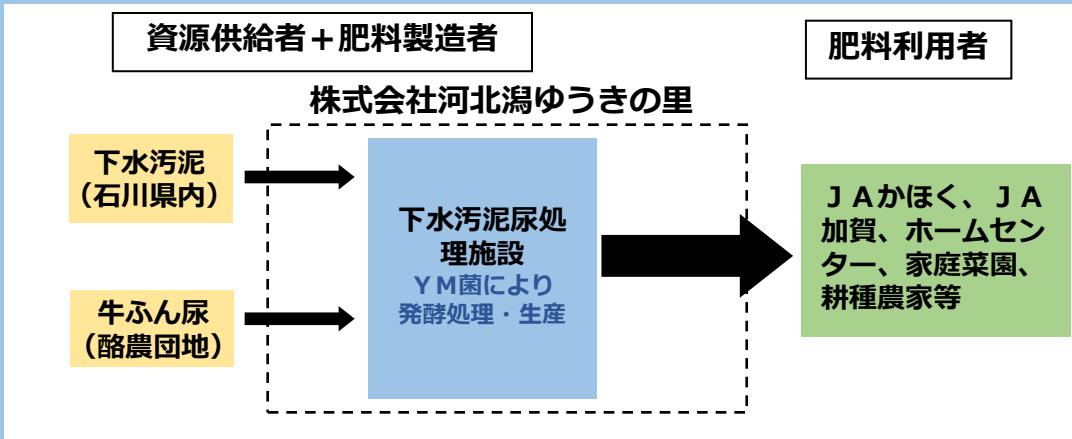
成果（見込み）

- ・ 下水汚泥由来のYM菌と牛ふんを使った汚泥発酵肥料「かんとりースーパー河北潟」として、肥料登録済。
- ・ 販売が軌道に乗れることで、下水汚泥の処理拡大が期待される。

〈汚泥肥料の供給〉

- 約5割（134t）は家庭菜園や耕種農家に直接販売、残りの5割（129t）はJ Aやホームセンターで販売。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ◆ 利用拡大
→ 当商品の知名度が低く、アンケートを取っても河北潟で肥料を生産していること知らない方が多い。
- ◆ 汚泥肥料供給
→ 「かんとりースーパー河北潟」の販路拡大について検討中。

